

# 健友

## 募集

医師  
看護師  
ヘルパー

健友会 電話 03-3387-3051

## 相談会から見える 貧困、命の格差

「年越し派遣村」に参加した職員が中心となり、2010年10月から開始した中野駅前での「何でも相談会」は、月1回の活動を継続し7年目に入りました。相談会を通じて、貧困の広がり、命の格差、働き方の深刻な実態などが見えてきます。

健友会非常勤医師 元川島診療所所長 谷川 智行



### 複数の問題を 抱えた方も

相談会には、医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、事務など、病院、診療所から毎回15人前後のスタッフが自主的に参加しています。代々木総合法律事務所からも、弁護士さんなど、4、5人の方にご参加いただいています。生活相談には、主に中野共立病院の元職員でもある日本共産党の浦野さとみ区議がのってくださり、時には数ヶ月、数年にわたって相談者の支援をしていたりしています。近隣の事前のチラシ配布や当日のテントの設置を手伝っ

てくれる事務系スタッフ、リハビリスタッフなど、多くの方々に支えられ活動を継続しています。相談会では、年間約200人の方々に相談を受けています。「医療・介護」が約4割、「法律」「労働」を合わせて3割、暮らしに関わる相談が約2割です。一人の方が、医療や介護の相談とともに生活や仕事の相談をされることも珍しくありません。

### 「70代男性」

以下に、いくつか事例を紹介いたします。

眼底出血で以前治療をしていたが、現在はお金のなく治療はしていない

重い治療費の負担のため受診を控えたり、治療の継続が困難になるなど、受療権が侵害されている事例が多数みられます。生活の基盤そのものが壊れ、生存権が脅かされている事例も少なくありません。

### 受療権、生存権が侵害されている

同時に、医療機関が行なっている相談会の強みも感じます。生活に困窮されていても、最初からその話をされる方は少なく、体調や病気の話を入り口にして、少しずつ「一番の困りごと」について語りはじめてくださる方がほとんどです。「血圧だけでも測っていかれますか？」と声を掛けることの大切さも感じています。



中野駅北口で毎月第4水曜 17時30分から実施している無料何でも相談会

「30代男性」  
重度のアトピー性皮膚炎。アルバイトで生活していたが、仕事がなく収入がなくなった。アパート代も払えない。

### 「50代女性」

がんの治療中。月8万円の治療費を支払えず借金をしている。一人暮らしの母の介護に通っている。死んだら借金はどうなるのか？ 母はどうなるのか？

### 「生活保護申請のハードル」

相談を通じて生活保護申請が必要と判断される事例は、5%前後あります。しかし、そのうちその場で申請の意思を確認できるのは、半分ほどです。申請を判断できない主な「理由」は、「生活保護を受けるのは情けない」(50代男性、32歳男性・登録型派遣)、「今

### 「半年前から遠くで見ていた」

私たちがとくに相談にこられた方は、困りごとを抱えておられる方々のごくごく一部だと思えます。遠くで立ち止まり、私たちのほうを

じっと見ておられる方を時々見かけます。スタッフが近づいていくと、慌てて立ち去っていかれます。「半年前から何度も相談しようと思いついて見えていたんですが、今日やっと相談できました」とおっしゃった方もおられました。涙が出る思いでした。

相談会を通じて、私たちは多くのごことを学ばせてもらい、医療人としての原点に立ちかえることができていると感じます。患者さんや地域の方々の困りごとに向き合い、少しでも役に立ちたいという思いを、職員の中に広げる力にもなっています。

何でも相談できる場所として、地域のみならず頼られる活動を継続していかなければと決意を新たにしています。

「一方、世界的には今までない「意志」の表明が続いた。英国の国民投票でEU離脱決定。米国でのトランプ政権の誕生。はっきりしているのは貧富の格差が広がり、世界中の抑圧された人々が行き場のない怒りの声を上げていることだ▼マスコミは政治家の発言や些末な現象ばかり報道し、なぜこんな社会になっってしまったのか本質を報道しない▼今から30年ほど前、宮崎義一という経済学者が多国籍企業の覇権が国を越えて世界を支配するとの警告を発し、もう主権国家としての国民国家はなくなるとも予言していた。これから私たちは世界の英知を集め、多国籍企業のモラルなき金儲けに歯止めをかけなければならぬ▼新しい国際連帯の大きな可能性が生まれている。若者の社会を見る目を信じ、国内では安倍政権など、国境を越えた金儲けを第一に信奉する勢力を、権力の場から退場させる大きな流れを作ろう。(飛)



昨年18歳まで選挙権が広がり、未来を背負う若者の国政参加が可能になった



川島診療所  
（編者 田中）

患者さんは、高齢の方が多く、手押し車（シルバーカー）が待合室の脇に並ぶことも多いとか。夜間診療も木曜に実施。小さい診療所ですが、内科・外科・整形と充実した診療体制がとれています。また、土建組合の健診は、年3回、日曜に行います。

伊藤洪志所長は、家庭医として予てからお年寄りまで、地域の「かか

## 事業所を訪ねて ⑫

●川島診療所

中野新橋通り沿い、川島商店街入り口にある川島診療所を訪ねました。新橋に近いので4階からは、目の前に高層ビルが並び、なかなかの景観です。事務長の渡邊里子さんからお話を伺いました。

### ●手押し車が並ぶ診療所

患者さんは、高齢の方が多く、手押し車（シルバーカー）が待合室の脇に並ぶことも多いとか。夜間診療も木曜に実施。小さい診療所ですが、内科・外科・整形と充実した診療体制がとれています。また、土建組合の健診は、年3回、日曜に行います。

### ●介護の連携もスムーズ

診療所には、ケアマネジャーが配置され、訪問診療や通院時、介護が必要になった時、対応がスムーズです。

南中野地域包括支援センターとの共催で健康講座を行うなど、地域の中での連携も強めています。

恒例の在宅患者さんとの日帰りバス旅行は、友

## 看護・介護の現場から ⑤1

### 地域医療に大切なこと

西荻窪診療所 師長 義村 典子

昨年、長く勤めた中野共立病院を離れ、西荻窪診療所に異動となりました。最初に驚いたのは、スタッフ

と患者さんの距離の近さです。「職員の間が気さくで、お医者さんにかかっているという感じがしない。互いの作業について患者さんの声も、受診を中断する気にならずに、電話をかけた状況をお聞きしては感謝を受けました。患者さんにとって、気にかけてくれる医療機関があることは安心につながると実感しました。

師長として配属になり、在宅の住診患者さんとの24時間管理も行っています。最初は緊張し、緊急コールが鳴るたびに、

在宅療養を支えていくために、在宅看取りを希望される方も増えています。病



「病者やケガをして、その人らしく社会の中で生活していくことを援助する」そんな仕事を誇っていました。中野区内の女子ソフトボールチームに所属し、時々ですが、好きなソフトボールを楽しんでいきます。

趣味は旅行と中学時代から続いているソフトボールなど。ボッシュンやキャッチャーやショートなど。現在、中野区内の女子ソフトボールチームに所属し、時々ですが、好きなソフトボールを楽しんでいきます。

「今年、人に寄り添う生き方を選んだ私の新たな挑戦の年。医療・介護の現場や地域の声に耳を傾け、皆さんと一緒に、都民のくらし、いのちを守るため、全力を尽くしたいですね。みなさんの声を全身で正面から受け取りたい」と、頑張ります。（編集部 佐藤）

## 映画会担当を引き継ぐ

担当役員の転居に伴い、二人の役員が引き継ぐことになりました。運営も映画の内容も来ている人の力を借りよう、常連の二人にお世話係を依頼。「楽しい映画会」の声を2月は「釣りバカ日誌」を上映し、今後の進め方も相談して無事、再出発です。（石田）

1月21日新春の集いがありました。座りやすい指子が入り、60人の参加がありました。インス



1月21日、川島診療所4階で総手紙「スケッチ」のメンバー9人が集まり新年会を行いました。おでんの鍋を囲み、作品展に何をだすかな、新年の抱負を語り合いました。（青山）

作り料理とちよっぴりお酒を飲み、普段がゆっくりとお話しする機会のない職員とも交流ができました。芸能まつりで披露した西診守劇の再現もあり、大盛り上がりでした。（長井）

1月11日、川島診療所4階で総手紙「スケッチ」のメンバー9人が集まり新年会を行いました。おでんの鍋を囲み、作品展に何をだすかな、新年の抱負を語り合いました。（青山）

# 「私」が国の主人公

中野・杉並健康友の会副会長 木村ケイ

1月25日、中野サンプラザで健康友会・東医研主催の「新春のつどい」が開催され、憲法を落語で語る「八法亭みややっこ」の憲法講（口演・弁護士の飯田美弥子先生）が大好評。爆笑と共感の拍手が会場に溢れ、参加者は異口同音に「元気が出た」「胸がスカッとした」と語り合いました。

## 個人として国民を尊重

### 「個人」を「人」に変える?

日本国憲法の核心は13条です。「すべて国民は、個人として尊重される」（13条第1文）「幸福追求に対する国民の権利については、…国政の上で最大の尊重を必要とする」

「個人」を「人」に変える? 悪だくみは芽のうちに摘み取ることが大事。この国の主人公は私」という声を上げましょう。



自民党の改憲草案を笑いとばす

## 地域の声を正面から



日本共産党中野区議  
中野共立健康友の会会員  
浦野さとみさん（36歳）



「病者やケガをして、その人らしく社会の中で生活していくことを援助する」そんな仕事を誇っていました。中野区内の女子ソフトボールチームに所属し、時々ですが、好きなソフトボールを楽しんでいきます。

### ●新たな挑戦

「今年、人に寄り添う生き方を選んだ私の新たな挑戦の年。医療・介護の現場や地域の声に耳を傾け、皆さんと一緒に、都民のくらし、いのちを守るため、全力を尽くしたいですね。みなさんの声を全身で正面から受け取りたい」と、頑張ります。（編集部 佐藤）



中野共立診療所医事課 領家直子 / 絵

### ●生活相談は60件超

現場の声

「今年、人に寄り添う生き方を選んだ私の新たな挑戦の年。医療・介護の現場や地域の声に耳を傾け、皆さんと一緒に、都民のくらし、いのちを守るため、全力を尽くしたいですね。みなさんの声を全身で正面から受け取りたい」と、頑張ります。（編集部 佐藤）

### ●中野共立病院へ入職

そんな浦野さんも、中学卒業時に脱毛症となり、高校3年間はずっと帽子をかぶる生活。この辛い時期に、家族や友人はもちろんだが、医療関係者の寄り添った援助に感謝を受け、「人の役に立つ仕事がしたい」と思うようになり、2期目

現場の声

「今年、人に寄り添う生き方を選んだ私の新たな挑戦の年。医療・介護の現場や地域の声に耳を傾け、皆さんと一緒に、都民のくらし、いのちを守るため、全力を尽くしたいですね。みなさんの声を全身で正面から受け取りたい」と、頑張ります。（編集部 佐藤）

## 新院長と進める中野共立病院 医療の大前提は「和」にある

中野共立病院 総経理 渡辺 絵理

今年1月、中野共立病院の院長が山田智医師（写真左）から山本英司医師（写真右）に交代となりました。

着て、自転車で通勤と暮らしている山本先生の姿が印象的かもしれません。

患者さんもお互いに支え合っています。友の会のみならず、自然のままに住み慣れた自宅を、最期まで一緒に過ごしたい、通院がたい、その願いに応えるためには、やはり医療・介護の連携が大切です。できるかぎり不安を取り除き、最期まで一緒に関わりたい、在籍を支援していきたい、在籍診療所として日々努力していきたいと願っています。

「今年、人に寄り添う生き方を選んだ私の新たな挑戦の年。医療・介護の現場や地域の声に耳を傾け、皆さんと一緒に、都民のくらし、いのちを守るため、全力を尽くしたいですね。みなさんの声を全身で正面から受け取りたい」と、頑張ります。（編集部 佐藤）

「今年、人に寄り添う生き方を選んだ私の新たな挑戦の年。医療・介護の現場や地域の声に耳を傾け、皆さんと一緒に、都民のくらし、いのちを守るため、全力を尽くしたいですね。みなさんの声を全身で正面から受け取りたい」と、頑張ります。（編集部 佐藤）

「今年、人に寄り添う生き方を選んだ私の新たな挑戦の年。医療・介護の現場や地域の声に耳を傾け、皆さんと一緒に、都民のくらし、いのちを守るため、全力を尽くしたいですね。みなさんの声を全身で正面から受け取りたい」と、頑張ります。（編集部 佐藤）

「今年、人に寄り添う生き方を選んだ私の新たな挑戦の年。医療・介護の現場や地域の声に耳を傾け、皆さんと一緒に、都民のくらし、いのちを守るため、全力を尽くしたいですね。みなさんの声を全身で正面から受け取りたい」と、頑張ります。（編集部 佐藤）

## 健康講座 高血圧を予防

1月18日、中野共立診療所で開催された健康講座「高血圧を予防」に、16人が参加しました。舌で覚えて帰ってほしいと、お話しした櫻井さんが、普通の食塩と減塩のしおで調理した里芋のミルク煮（みそ）を食べ比べました。（関）

1月11日、川島診療所4階で総手紙「スケッチ」のメンバー9人が集まり新年会を行いました。おでんの鍋を囲み、作品展に何をだすかな、新年の抱負を語り合いました。（青山）



1月11日、川島診療所4階で総手紙「スケッチ」のメンバー9人が集まり新年会を行いました。おでんの鍋を囲み、作品展に何をだすかな、新年の抱負を語り合いました。（青山）

作り料理とちよっぴりお酒を飲み、普段がゆっくりとお話しする機会のない職員とも交流ができました。芸能まつりで披露した西診守劇の再現もあり、大盛り上がりでした。（長井）

1月11日、川島診療所4階で総手紙「スケッチ」のメンバー9人が集まり新年会を行いました。おでんの鍋を囲み、作品展に何をだすかな、新年の抱負を語り合いました。（青山）

## 映画会担当を引き継ぐ

担当役員の転居に伴い、二人の役員が引き継ぐことになりました。運営も映画の内容も来ている人の力を借りよう、常連の二人にお世話係を依頼。「楽しい映画会」の声を2月は「釣りバカ日誌」を上映し、今後の進め方も相談して無事、再出発です。（石田）

1月11日、川島診療所4階で総手紙「スケッチ」のメンバー9人が集まり新年会を行いました。おでんの鍋を囲み、作品展に何をだすかな、新年の抱負を語り合いました。（青山）



1月11日、川島診療所4階で総手紙「スケッチ」のメンバー9人が集まり新年会を行いました。おでんの鍋を囲み、作品展に何をだすかな、新年の抱負を語り合いました。（青山）

作り料理とちよっぴりお酒を飲み、普段がゆっくりとお話しする機会のない職員とも交流ができました。芸能まつりで披露した西診守劇の再現もあり、大盛り上がりでした。（長井）

1月11日、川島診療所4階で総手紙「スケッチ」のメンバー9人が集まり新年会を行いました。おでんの鍋を囲み、作品展に何をだすかな、新年の抱負を語り合いました。（青山）



健康談 第④回



川島診療所 所長 伊藤 洪志

# 「診療所所長兼、病棟医」のスタイルで

「私が主治医になりま

すから、入院しまし  
う。がん末期で訪問診  
療が始まった患者さん。  
日に日に体力が落ちて  
きた。ほとんどベッド  
から動けず、水分を少  
しとるだけ。本人も家  
族も緩和ケア病棟への  
入院を希望されている。  
ただすぐには入れない。  
その間、中野共立病院  
の一般病棟に入院して  
いただいた。



その際、自分が主治  
医になると伝えると、  
やはり患者さん、家族  
は安心する。医師間の  
情報のやり取りも省略  
できるので迅速な対応  
がとりやすい。退院時  
も「私が往診しますか  
ら、退院しましょう」

## 医療のみならず 全体像がつかめる

病棟での診療を中心  
にしなが、訪問診療  
もしている医師は大勢  
いると思う。一人の患  
者さんに在宅から入院  
まで関わられるので、医  
療のみならず介護福祉  
の全体像がつかめる。

私は、診療所所長をし  
ながら病棟もみる、や  
や特殊なスタイルで診  
療をしている。健友会  
は、一つの病院と9つ  
の診療所を展開。私は  
そのうち3つの診療所  
で外来と訪問診療をお  
こなひ、残りの時間で  
入院患者さんもみる。

## 独善的にならず 診療の質を上げる努力

診療所と病院は自転  
車で15分程度なので行  
き来もしやすい。午前  
中の往診で救急要請し、  
昼に病院に戻って自分  
で救急対応することも  
よくある。健友会では  
以前からこの「診療所

所長兼、病棟医」のス  
タイルが定着している。  
ただし、想像の通り  
良い所ばかりでもない。  
まず、診療所にも病棟  
にも半日ずつしかいな  
いので、どちらからも  
「いつものいい医師」と  
思われがち。他の医師  
やスタッフに負担がか  
かっているようだ。

また、患者さんを一  
人の医師だけでみてい  
ると、独善的になりや  
すい。よって、当院で  
は病棟医のカンファレ  
ンスは欠かさず行い、  
なるべく複数の医師が  
関わって診療の質を上  
げるようにしている。  
在宅の主治医と入院の  
主治医をあえて変える  
こともある。

## 都市部の小病院、 診療所のあり方は？

診療所中心で病棟も  
みるスタイルは一般的  
にはかなり特殊なよう  
だが、当法人のような  
都市部の小病院、診療  
所では良いのではない  
かと思っている。

さて、明日退院する  
人も、自分の訪問診療  
になるようだ。  
〔民医連新聞「よりの



# 「荻の会」30年の 出会いに感謝して

桃井健康友の会  
小林 三重子

「荻の会」は、地域の  
一人暮らしや、引きこも  
りがちな高齢者が、語  
り、笑い、楽しいひと時  
を過ごせるようにと活動  
を行う会です。今年で31  
年目を迎えます。

1983年、老人保健  
法制定反対のたたかいが  
全国で展開。杉並でも反  
対運動の学習の中から  
「住民本位の保健・医療・  
福祉を求める杉並の会」

という住民運動組織が生  
まれました。その中で、  
実践的学習の場として、  
1986年、桃井診療所  
の空部屋を提供してもら  
い、高齢者や認知症、全  
盲の方などが集まり、ポ  
ランテアによる「デイ  
ホーム」を開設。これが  
「荻の会」の始まりです。  
桃井診療所、西荻建診療  
所、天沼診療所のスタッ  
フの協力で進めることが  
できました。

2007年、桃井診療  
所の透析ベッド拡大のた  
め、会場を「ゆうゆう荻  
窪館」に移行。自治体に  
看護師や理学療法士など  
の派遣要請をし、歌や軽  
い体操、ゲーム、食事を  
囲みおしゃべりなど、月  
3回の月例会を続けてい  
ます。

今では、デイサービス  
とかデイホームはどこに  
もありますが、当時は高  
齢者に対する行政の在り  
方について学び、行政へ  
の要望や働きかけを行  
いながら、手探  
りの状態でし  
た。

実践の場と  
援助スタッフ  
がいたことで  
活動が続けら  
れ、そして、  
参加者に私た  
ちボランティア  
が育てられ  
たと思ってい  
ます。30年  
の出会いに感  
謝し、これか  
らも地域の中  
で活動を続け  
ていきたいと  
思っています。

## 魔法つかいの 集まり

西荻在宅ケアセンター  
窪田 麻美

ぼかばかあたたかい屋  
下がり、一心に折り紙に  
向かう姿があります。西  
荻友の会の折り紙サーク  
ルです。季節の風物詩  
を、たった一枚の紙が立  
体となり表現する折り  
紙。まるで魔法です。  
不器用な方でも懇切丁寧  
に教えてくれますので  
で、どなたでも安心して  
お運びください。

### ●活動日

毎月第一水曜日  
午後2～4時

●場所  
西荻診療所1階会議室

## 俳句

冬富士の瑞気みなぎる米寿かな  
初富士を背に駆けぬける駅伝走  
筆先に墨の匂へる淑気かな

桜山健康友の会 広瀬須美子



サークルのみなさんの声

折り紙は、あたたかいお話を咲かせる力があるようです。「お雛さんと言えば母がねえ、お寿司をね…」と。そして誰かが、誰かにどこかで教わった折り方の知恵を持ち寄り自由な発想で作り  
ます。しみじみと、いい時間です。



新井薬師の「お願い地藏尊」



共同組織活動交流集会(石川)の会場にて  
かわしん健康友の会 青山豊次



お孫さんの似顔絵  
かわしん健康友の会スケッチサークル  
下山 寿子

## 薬剤師募集中!

薬剤師さんをご紹介ください。

薬剤師も地域へ、在宅医療を旺盛に展開

株式会社 東京医療問題研究所 本社事務局電話 3389-6911  
〒164-0001 中野区中野 5-47-10  
ホームページ http://www.toiken.co.jp

- 青葉調剤薬局 中野区中野 5-47-10 3389-7110
- ちひろ薬局 中野区沼袋 2-30-7 3387-3426
- わかば薬局 中野区弥生町 3-27-11 3372-5664
- すみれ薬局 中野区東中野 3-17-17 3362-2510
- 桃園薬局 中野区中野 3-3-2 3384-5527
- 西荻みなみ薬局 杉並区西荻南 1-14-19 3335-7200
- やまと花公園薬局 中野区大和町 1-57-4 3336-3775
- なごみ薬局 杉並区天沼 3-28-8 5347-0671